

平成30年2月16日

平成29年度第11回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

平成29年度第11回教育委員会定例会会議録

日時 平成30年 2月16日（金）
14時00分～15時55分

場所 教育委員会室

出席者

古川 教育長	谷口 教務主任	育 育 次 長	長
島津 委員	寺園 教務主任	福 福 利 課 長	長
今村 委員	奥園 教務主任	施 施 設 課 長	長
原之園 委員	小屋敷 教務主任	員 員 育 育 課 長	長
石丸 委員	大菊前 教務主任	教 教 育 育 課 長	長
堀江 委員	岩西 教務主任	体 体 育 育 課 長	長
	松花 教務主任	会 化 財 課 長	長
	月田 教務主任	同 和 教 育 課 長	長
	尾藤 教務主任	特別支援教育推進室 長	長
	石田 教務主任	厚生 課 長	監
	清福 教務主任	福利 課 長	監
	福岩 教務主任	員 員 課 長	監
	堀之 教務主任	員 員 課 長	監
	平福 教務主任	校 校 教 育 課 長	監
	川原 教務主任	徒 徒 指 導 課 長	監
	村久 教務主任	職 員 課 長	事
	野村 教務主任	校 校 教 育 課 長	事
	坂口 教務主任	務 福 利 課 長	佐

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 職員の懲戒処分 について</p>	<p>学校職員の非違行為について、教育公務員としての責任を問おうとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

教育長報告第4号，議案第1号及びその他（1）については，非公開で審議する旨，教育長から発議があり，全会一致で議決された。

3 平成29年度第10回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

4 教育長報告

報告第1号 平成29年度いきいき教育活動表彰の被表彰者の追加決定について

（総務福利課長）平成29年度いきいき教育活動表彰の被表彰者について，教育長の臨時代理により追加決定した旨報告

（今村委員） 笠利中学校は文部科学大臣賞など3件受賞している。全国の中でこの受賞は凄いのだが，このようになった経緯は何か。

（総務福利課長）笠利中学校の先生が理科の実験など優れた指導をされたことが生徒の受賞につながったと考えている。

（今村委員） その先生が異動する度，生徒の受賞につながる。そのような先生方が更に活躍できるような学校の在り方が必要だと思う。

（総務福利課長）指導された先生もだが，学校の実績につながってその後輩に引き継がれているのかと思われる。引き続き，今後の受賞に期待しているところである。

（島津委員） 指導の先生に対する表彰は優秀教職員表彰式に該当するのか。あるいは他にあるのか。

（教職員課長） 優秀教職員表彰は分野ごとに指導や顕著な実績のある方々を表彰している。このいきいき教育活動表彰は，児童・生徒の活動の実績を表彰するものである。指導者御自身に顕著な実績がある場合は，優秀教職員表彰の候補になっていくと思っている。

（島津委員） ある意味，チームでやっているような気もする。対象は子供たちであるので，それはそれは良いのだが，先生方にもスポットライトが当たるようにしていただきたい。

（原之園委員） その他の活動の分野で，環境保全，自然保護，環境美化など新たな分野も出てきており，非常に素晴らしいことだと思う。

(教育長) 異議がないようなので、教育長報告第1号は了承をいただいたものとする。

報告第2号 平成29年度3月補正予算案についての知事への意見申出について

(総務福利課長) 平成29年度3月補正予算案について、知事から意見を求められたので、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと及びその内容等について説明

(教育長) 異議がないようなので、教育長報告第2号は了承をいただいたものとする。

報告第3号 平成30年度当初予算案についての知事への意見申出について

(総務福利課長) 平成30年度当初予算案について、知事から意見を求められたので、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと及びその内容等について説明

(島津委員) 新規事業の「新しい農業教育推進プロジェクト」についてもう少し詳しく説明していただきたい。

(高校教育課長) 平成28年度末の新しい農業教育のための検討会の提言を受けて取り組む新規事業であり、大きく3つの取組がある。

1つ目は、今年4月に入学する1年生を対象にした、県内の先進的な取組を行っている農家や企業を視察に行く取組である。

2つ目は、就農を目指している2、3年生を対象にした、海外で研修する取組である。

3つ目は、既に一部実施しているが、中学生を対象にした、市来農芸高校と鹿屋農業高校の寮に宿泊してもらいながら、実際に農業高校で体験学習をしてもらう取組である。

(島津委員) 先日市来農芸高校に行き、素晴らしい研究をされていて頑張っているなど思ったが、もう少しレベルを全体的に上げていただきたい。農業高校だけ入学希望者が少ないことがないよう、このような活動を強化することで入学希望者を増やしていただきたい。

また、「文化の薫り高いふるさとかごしまの形成」について、麓の文化や武家屋敷群については聞いているが、旧考古資料館もこれに含まれるのか、それとは別にされるのか。

(文化財課長) 旧考古資料館は現在登録有形文化財となっているが、それを指定重要文化財という形に持っていきたい。更に文化財としての価値を高め、助成制度を使える形に持っていけるよう取り組みたいと考えている。

(教育長) 「西南戦争を掘り、学ぶ事業」についても説明していただきたい。

(文化財課長) 県内に所在する西南戦争関連遺跡を発掘調査し、その役割を再発見するとともに、出土した本物の資料を活用した授業支援を行う事業である。

平成30年度は滝之上火薬製造所跡の発掘調査を実施する。平成28年度まで発掘調査をした敷根火薬製造所跡の本局である滝之上火薬製造所跡を調査したいと考えている。

(島津委員) これは西南戦争と関連するののか。

(文化財課長) 明治10年1月に草牟田火薬庫の襲撃があり、3月に火薬製造所が破壊された。このようなことから西南戦争が始まっていったという経緯である。

(今村委員) 教育委員会主要施策の概要の資料は昨年度はなかったと思うが、大変分かりやすい資料で良い。

新規事業に関しても、結果としてどうだったかという報告があるかと思う。去年はアリーナの問題が話題になっていたこともあり、国体がよりクローズアップされた報告だった。来年度予算のうち、国体関係で何か特化したものはないか。

(保健体育課長) かがしま国体に向けた競技力向上対策に係る予算について、かがしま国体まであと2年を迎えていること、えひめ国体が33位だったことを真摯に受け止め、危機感を持っているところである。

やはり、有力選手の獲得・強化をしなければならないと考えており、新規事業として、強化指導員を派遣しようと考えている。これは世界も含めて、トップアスリートを鹿児島に招聘し、鹿児島の選手として国体で活躍していただく。

また、各強化指定校や推進校の部活動においても指導をしていただこうと考えている。

青年選手を確保するためには、企業と連携をしてゼロ予算事業の「サポートかがしま」において、スポンサーとなっていただく企業を見つけ、鹿児島の選手団として出場していただくことを考えている。

あとは、各事業を拡大していこうと考えている。

(原之園委員) 特別支援教育について、高等特別支援教育など将来的な展望はいかがか。

(特別支援教育室長) 南部地区については、昨年度に就学に関する希望調査を行った。分析した結果、判断が難しかった。今後、桜丘養護学校の児童生徒数の推移や学習環境の状況を見ながら総合的に判断していきたいと考えている。

(堀江委員) 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」について、具体的に教えていただきたい。

(高校教育課長) これは文部科学省の事業であり、新年度に向けて申請をしているところである。指定を受けるかどうかは3月下旬に決まるが、現在、県からは鹿児島水産高校が申請している。

狙いとしては、高度な知識・技能を身に付けた専門的な職業人の育成であり、専門高校のカリキュラムに沿った、あるいはその地域の課題を解決することを目的としたさまざまな授業を計画に入れているところである。

(教育長) 平成30年度当初予算案について説明していただいたが、詳細については、改めて御説明させていただきたい。

(教育長) 異議がないようなので、教育長報告第3号は了承をいただいたものとする。

報告第5号 校長の任命について

(教職員課人事管理監) 校長の任命について、教育長の臨時代理により行った旨報告

(教育長) 異議がないようなので、教育長報告第5号は了承をいただいたものとする。

5 その他

(2) 平成29年度かごしまジュニア検定について

(義務教育課長) 平成29年度かごしまジュニア検定の概要及び参加校・参加者数等について説明

(島津委員) 参加者数が2万人を超えるのは初めてであり、素晴らしい。ただ、これは予定者数だが、受験者数になると減ることはないか。

(義務教育課長) これまで受験者数の方が上回ることがあったので、実際には学校数や受検者数が増えることは十分有り得るが、大きくは変わらないと思う。

(島津委員) 毎年言っているが、同じ問題が出されているのに、ここ2年間、中学校と比べ、小学校の方が合格率が高い。

(義務教育課長) 合格率の高い学校はそれなりに秘密がある。例えば、学校が一丸となり、教室の掲示物に工夫をしたり、学級全体でこの問題を取り組んでもらおうという空気をつくったりしている学校は当然合格率が高くなる。特に小学校の活動の方が顕著であったというのが今までの結果である。

義務教育課としては、市町村から良い取組をしている学校の例を集め、指導主事等会議を通じて各市町村に還元する取組を促したことで、合格率は徐々に上昇しているところである。

また、商工会議所のホームページに参考資料が掲載されており、それを勉強すれば十分に合格できる検定であるので、参加することだけでなく、しっかりと準備する取組を各学校にお願いするこ

とをこれからも続けていきたいと考えている。特に中学校に頑張っていたきたいと思っている。

(原之園委員) 非常に素晴らしい取組である。参加率が上がっているので、この勢いでどんどん進んでほしい。

やはり地元のことを知ることは過去の失敗を繰り返さないことや新たな展望を開けるなど素晴らしいことであるので、是非中学校にも頑張っていたきたい、参加者数も広げていただきたい。

(3) かがしま青年塾について

(社会教育課長) 「かがしま青年塾」意見発表会及び閉校式について説明

(島津委員) 私も参加させていただいたが、若者にやる気のある前向きな発表をしてもらえた。今の若者はいろいろ批判を浴びることもあるが、頑張っている若者がいることを実感できた。非常に良い取組である。

高校生を対象とした地域塾の出身者などがかがしま青年塾に入り、個性を伸ばして勉強するというのも鹿児島としての継続的なプログラムとしてつながっているのではないかと思う。

(石丸委員) 意見発表会と閉校式に参加させていただいたが、若い方々がとても頑張っていると感じた。この事業は継続されると思っているが、今年度の塾生が実施したことをどこかで参照できるような仕組みはあるのか。

また、対象者へのアピールだけでなく、企業にアピールできるような内容であったので、来年度の募集の際、企業や経済界とつなぐシステムがあればよいと思うが、いかがか。

(社会教育課長) 来年度の募集については、いろいろな工夫ができると考えている。委員の仰ったように、今年度の塾生たちが受講している様子を現在フェイスブックの方に掲載しているが、来年度のチラシやポスターにも反映させるなど活用できるよう考えている。

今回の塾生たちのプロジェクトの内容は非常に良いものであったが、実際にこのようなものがあると企業や経済界にアピールすることは現時点では考えていなかった。今後、かがしま青年塾の実施内容を企業や経済界にどのようにアピールできるか検討していきたい。

(島津委員) 参加は個人で行うのか。企業が申し込むことはないのか。

(社会教育課長) 個人で参加されているが、我々は企業等も訪問しているので、中には企業等から出張扱いで参加されている方もおられる。

(島津委員) 参加費はあるのか。

(社会教育課長) 参加費は宿泊研修でかかった実費のみである。

(原之園委員) 意見発表会では5人しか聞くことができなかったが、とにかく鹿児島をなんとかしたいという強い意欲を持って具体的な提案をしておられ、非常に心に残った。是非続けていただきたい。

(教育長) 経済団体へのアピールについては、奨学金の基金などお願いに伺うこともあるので、機会を捉えてアピールしていきたい。

6 教育長報告
報告第4号 教育に関する事務について定める議案についての知事への意見
申出について

(非公開)

7 その他

(1) 学校における業務改善に係る緊急対策(案)について

(非公開)

8 議案

議案第1号 職員の懲戒処分について

(非公開)

9 閉会